Historian,
Curator,
and Peace Advocate



Kan'ichi Asakawa Papers (MS 40). Manuscripts and Archives, Yale University Library.

戦争に向かう世界

1930年代と朝河貫一

朝河貫一
生誕150周年
記念シンポジウム





2023年12月23日(土) 13:00-16:40

立教大学池袋キャンパス
14号館2階D201教室

主　催：朝河貫一研究会
共　催：立教大学日本学研究所
後　援：立教大学アメリカ研究所

参加費：無料

総合司会：佐藤雄基（立教大学）
開会挨拶：福田康夫（元総理大臣）
基調講演：ダニエル・ボツマン（イェール大学）
報　告　者：陶波（千葉大学）、増井由紀美（敬愛大学）、三牧聖子（同志社大学）
ラウンドテーブル：五百籏頭眞（神戸大学名誉教授）、ダニエル・ボツマン、三牧聖子、増井由紀美、陶波、山内晴子（元早稲田大学）

https://www.rikkyo.ac.jp/events/2023/12/mknpps000002d4no.html

● 要事前申し込み（先着200人）googleフォームにて受付　https://forms.gle/AVhdBuXbtW17nGwM7

This work was supported by JSPS KAKENHI Grant Numbers　22H00776-1

朝河貫一 生誕150周年記念シンポジウム

戦争に向かう世界：1930年代と朝河貫一

趣旨：

本シンポジウムは、朝河貫一生誕150周年記念シンポジウムとして、日米開戦へと向かう1930年代アメリカにおける歴史学者朝河貫一（1873−1948）を中心にして、戦争に向かう時代の潮流に個人がどのように立ち向かうことができるのかを考える場としたい。朝河は国際関係や互いの国民性の理解を深めるために「歴史」を重視していたが、まさに現在、国際情勢が大きく変容し、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルとガザ地区の戦闘と、戦争という危機が現実のものとなる中、戦争を回避して平和を目指した過去の人びとの経験に私たちは学ぶ必要がある。朝河の人生が現在の私たちに何を伝えてくれるのか、そしてどのように未来に伝えていくのか、このシンポジウムで考えていきたい。

1：00	開会
1：05 ― 1：10	開会挨拶：福田康夫（元総理大臣）
1：10 ― 2：00	基調講演：ダニエル・ボツマン（イェール大学）　オンライン参加 「朝河貫一と日系アメリカ人−C.ヤナガとの関係を中心に」
	休　憩
2：10 ― 2：35	報告1 ：陶波（千葉大学） 「1930年代のキリスト教ネットワークと日米関係」
2：35 ― 3：00	報告2 ：増井由紀美（敬愛大学） 「1930年代のアメリカ美術と朝河貫一」
3：00 ― 3：25	報告3 ：三牧聖子（同志社大学） 「日米関係から見た朝河貫一」
	休　憩
3：35 ― 4：35	ラウンドテーブル：戦争に向かう日米関係と朝河貫一 五百籏頭眞（神戸大学名誉教授） ダニエル・ボツマン、三牧聖子、増井由紀美、陶波、 山内晴子（元早稲田大学）
4：35 ― 4：40	閉会挨拶

総合司会：佐藤雄基（立教大学）